

関係各位

Far East Group

漢 Camp2013 イノベーション・トーナメント

□ イノベーション・トーナメントとは？

→「自分の周囲を新鮮な目で見、裏庭にチャンスを見つける機会」

→「どんな問題もチャンスと捉え、工夫して解決できることを示す機会」

EX)「アイディアに良し悪しはない」

・与えられた課題（当日発表）について、Best アイディア（そのアイディアは課題をクリアするのに最も素晴らしい）と、Worst アイディア（そのアイディアは、課題クリアするのに遠回りではないかと思われる）を一つずつ、チーム毎に書き出す

→Worst アイディアを、ブレインストーミングを行って Best アイディアに育てる

（※Best アイディアに育てられたのなら、最初のアイディアに良し悪しなど無いだろ）

→各チームで新しく育てた Best アイディアをまとめ、そのプロセスや成果、アイディアについて翌朝三分でプレゼン

→プレゼンのスキルについて審査

→ピザ食べながら、結果発表、表彰。まとめ。

□ イノベーション・トーナメントで使うツール

頭…最大の資源

- 観察力と注意力、洞察力を駆使し、
- 身近な問題を発掘し、
- チャンスを見つけ、
- 常識を疑い、
- 独創力を発揮し、
- 持てる力を使い、
- 創意工夫して問題解決を図る。

ブレインストーミング…自由な発想。頭を柔らかく。

→「アイディアを否定しないこと。」

→「他人のアイディアを発展させること。」

→「イメージに制約を設けない。」

→「問題を大きな視点で捉える。」

演習 1. 「パーティーの提案 Yes.No」

常識を疑うスキル…アイディアの発展と構築

→「伝統的な業界の特徴を挙げる」→「それらの特徴を逆にする」→「残すか、変えるか」

演習 2. 「サーカス業界を変える」「葬儀業界を変える」「ファーストフード業界を変える」「航空業界を変える」「出版業界を変える」「音楽業界を変える」「文具業界を変える」「運送業界を変える」「旅行業界を変える」「お寿司屋さんを変える」「パスタ屋さんを変える」「ホテル業界を変える」「イベント業界を変える」「ブライダル業界を変える」「教育業界を変える」その他

その他のアイディア…あなた次第。

イノベーション・トーナメントの効用

□新しいレンズ（物の見方）の提供

□社会に出れば、自分が自分の先生であり、何を知るべきか、情報はどこにあるのか、どうやって吸収するかは、自分で考えるしかない。実社会での生活は、出題範囲が決められずに、どこからでも出題される試験のようなもの。→ドアは大きく開かれているので、どんな問題に対しても、身の回りの資源はいくらでも利用できる。

□問題に直面した場合、それは自分を苦しめるストレスなのではなく、こんなだと思っていたことが実はチャンスなのだ気付くようになる（問題をチャンスと捉えられないのは、そういう教育を受けてこなかったからかもしれない）→問題は数をこなすほど自信を持って解決できるようになる。そして楽に解決できるようになると、問題とは…問題ではなくチャンスだと気付く。→自分に何ができるのか？それを決める最大の要因は「心構え」→「常識をひっくり返せ！」

□誰かを特別視するのではなく、ヒントにした方がずっと建設的と確認する

□「見方を変えてもいい」「独創的な方法でやってもいい」と、自分に自分で許可を与える

□正解が何通りもあるような問題に適用できる＝全ての問題（どんな問にも答えは何通りもある）

□個人、チーム、組織に創造性とイノベーション（革新）を取り込むことを重視

□チャンスは無限にあると認識する（問題が大きければ大きいほどチャンスも大きい）

□問題の大きさに関係なく、今ある資源を使って、それを解決する独創的な方法は常に存在する。（できないことはない、呑んでかかれ）

□私たちは往々にして問題を狭く捉えすぎていると自覚する…2時間で500円を増やす事例。

□起業家精神とは…世の中にはチャンスがあちこちに転がっていると見ること…金を稼ぐより、意義を見つけた方が目標にたどり着きやすい

□大きな問題をこれまでにない独創的な方法で解決して使命を果たすこと

□リーダーシップ、チーム作り、組織作り、交渉、イノベーション、意思決定…幅広いスキルの開拓

→企業家とは、チャンスになりそうな問題を絶えず探し、限られた資源を有効に使う独創的な方法を見つけ出し、問題を解決し、目標を達成する人達。